

## 柑橘 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。

## 病害虫防除 6月中～下旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓  
【温州みかん】収穫30日前 4回 【温州ミカンを除く】収穫90日前 4回
- ミカンハダニ アタックオイル 又は ハーベストオイル 150倍 666ml/水100㍓
- 幼ジバダニ ハチハチフロアブル(劇) 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100㍓ 又は  
フェノピザミツ コテツフロアブル(劇) 収穫前日 2回 6,000倍 16ml/水100㍓  
(発生園に散布)

## 摘果 (大津・青島)

大津・青島は大玉果になりやすいので、隔年交互結実をさせてなり込ませます。  
 表年の樹はこの時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果  
 しましょう。裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。

## 摘果 (不知火・はるみ)

不知火・はるみは樹冠上部に着果させると樹勢の低下につながります。  
 生理落果が始まったら樹勢強化の為、樹冠上部1/3～1/4は全摘果し樹勢の強化を図りましょう。

## 梅 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。

## 病害虫防除 6月上中旬(漬け梅に散布)

- 黒星病・すす斑病 インダーフロアブル 5,000倍 収穫前日 2回 20ml/水100㍓

## 収穫

収穫後の取扱いは丁寧におこないましょう。当たり傷はその時は目立たなくとも後日変色し、  
 出荷先や購入者からのクレームの原因となります。

(梅干用) 果実表面の毛じが半分以上脱落し、果面に光沢が出てきた頃になります。

1樹を1度に収穫せずに期間を空けて2回以上にわけ、未熟果は出荷をしないようにしましょう。

## キウイフルーツ

## 病害虫防除 6月～8月

- カメムシ発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

## 夏肥 6月上旬

キウイ配合 80kg/10a

初期肥大促進のために重要。着果が多くなる場合は、20～40kg増量します。

## 摘果 2回以上に分けて摘果しましょう。

- ・荒摘果 6月上～中旬

奇形・扁平・傷・病害・小玉果を除去。荒摘果はできるだけ早く行くと果実肥大が良好になります。

- ・仕上げ摘果 6月下～7月上中旬

奇形果・傷果・小玉果から摘果する。1㎡あたり25着果を目標に摘果しましょう。

## くり

## 病害虫防除 6月下旬～7月下旬

- カミキリムシ類 トラサイドA乳剤 200倍 収穫14日前 1回 500ml/水100㍓

\*葉にかからないよう樹幹に散布します。

**かき** \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

**病害虫防除** 6月上旬～中旬

○カキノヘタムシガ フェニックス顆粒水和剤 4,000倍 収穫7日前 2回 25g/水100ℓ  
 ○落葉病・うどんこ病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100ℓ

**追肥** 6月中下旬

柿配合 5kg/1a

**摘果**

生理落果が終了する7月中旬までに1結果母枝2～3果にしましょう。

**水稻**

**水管理** 田植え後、4～5日は水温を保つため深水とします。(掛け流しはしない)  
 以降は3～5cm前後の深さを保ちましょう。

**雑草防除** 主な除草体系(例)

通常	一発処理剤(トップガンR1 <sup>ホ</sup> 粒剤など)
雑草多発田	一発処理剤+後期剤(クリンチャーバスME液剤 など)
ノビエ多発田	一発処理剤+中・後期剤(ヒエクリーン1 <sup>ホ</sup> 粒剤、クリンチャーバスME液剤、クリンチャーEW など)
コナギ多発田	一発処理剤+後期剤(バサグラン粒剤 など)
クログワイ多発田	クログワイに効果のある一発処理剤(トップガンR1 <sup>ホ</sup> 粒剤など)+後期剤(バサグラン粒剤、クリンチャーバスME液剤など)
藻類多発田	一発処理剤+モグトン粒剤

- \* 水稻の一発処理剤(および初期剤)は、移植後日数の早い時期に散布するよう心がけ、散布後7日間は止め水にし、湛水状態を保ちましょう。
- \* 水稻除草剤の散布時期は薬剤によって異なるので、ラベルをよく確認しましょう。

**お茶** \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

**二番茶の摘採** 一番茶摘採から45日後が目安となります。

**病害虫防除** ※安全使用日数や周辺の摘採日程に十分留意し防除しましょう。

6月上旬～6月中旬 (二番茶摘採園)

○チャノドクミコバ  
チャノアザミ  
カザワガニ  
チャノカザミ

コテツフロアブル(劇) 2,000倍 摘採7日前 2回 50ml/水100ℓ

※チャトゲコナジラミを対象とする場合は6月上旬に散布する。

○チャノホソガ多発時 カスケード乳剤 4,000倍 摘採7日前 2回 25ml/水100ℓ

○もち病・炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 摘採7日前 2回 33ml/水100ℓ

※新梢枯死症対策として使用する場合は2,000倍 50ml/水100ℓとします。

6月下旬～7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 摘採14日前 2回 100g/水100ℓ

\*剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布しましょう。

**施肥**

(一番茶摘採のみの場合) 6月下旬 なたね粕 100kg/10a

(二番茶摘採を含む場合) 二番茶摘採15日前 硫安 40kg/10a

二番茶摘採後 なたね粕 100kg/10a

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。